TERRAとも
NPO 法人　地球市民友の会

第 22 号
2016(平成28)年 10月
NPO 法人地球市民友の会
藤沢市高倉 258 東勝寺内
☎0466-44-7570

FAX：0466-44-0452　Eメール：npo.terratomo@gmail.com　HP：http//www.terratomo.com

子どもたちが寺にお泊まり

バーベキューや花火を楽しみ、肝試しや坐禅を体験

８月２０日（土）と２１日（日）に、夏休み恒例の行事「お寺に泊まろう！」を開催した。９回目となる今年のお泊まり会には、小学生２４名と高校生２名が参加した。また、文教大ＨＯＰの学生９名とＮＰＯ関係者や地域の人の支援を得て、東勝寺を会場とする１泊２日の共同生活を送った。この「お泊まり会」は、「日本人の子どもたちと外国籍の子どもたちが、共同生活を行うことにより相互理解を図る事業」として地球市民友の会が実施してきたものである。

初日は、寺に午後５時に集合して本堂で開会式後、お家の人と分かれて共同生活が始まった。先ずは外でバーベキューをして腹ごしらえ。ところが最中に雨！　雨宿りしながらもバーベキューは続いた。その後雨も上がり、皆で花火を楽しむことが出来た。そして次に用意されていたのは待望の肝試しだった。それは寺の裏にある墓地を通って地蔵堂に置いてある目的物を持ち帰るというゲームなのだが、雨上がりで月明かりもない夜、遠くに見えるロウソクの明かりをたよりに歩いて行く肝試しは、子どもたちにとって怖いながらも「早く行きたい！行かせて！」と懇願するほどワクワク感のある魅力ある体験であったようだ。

翌朝は６時起床。昨夜遅くまで起きていたようで眠そうな様子の子ども達もいたが、全員で本堂や客殿、縁側や境内の清掃に取り組んだ。そして、東勝寺住職（ＮＰＯ地球市民友の会黒澤理事長）の手作り粥による朝食を寺の作法を学びながらいただいた。その後、心身を整える坐禅に蝉の声をＢＧＭとして心静かに取り組んだ。坐禅の後は一転、お楽しみのスイカ割りやゲームで盛り上がった。プログラムの最後は“大流しそうめん大会”。長～い樋を流れ下るそうめんやフルーツにワイワイがやがや、大いに盛り上がってお泊まり会は終わった。

今回は、初日のバーベキューと翌日の流しそうめんは、宿泊とは関係なく申込を受け付けたこともあり、参加者延べ人数は９０名超となった。

参加した子どもたちが帰るときの姿は、非日常の世界で国籍や世代を越えて交流できた１泊２日のお泊まり会を終えて帰る時には、どことなく一回り大きくなったように感じた。

お泊まり会楽しかったよ～！

にわか雨で雨宿りしつつＢＱ

雨が上がって花火を楽しむ

朝の清掃、縁側の雑巾がけ

朝の清掃、境内の掃き掃除

作法を学びながらいただく朝粥

自由時間、お姉さんとトランプ

爽やかな朝、体を整え、心静かに行う坐禅

エイッ！　スイカ割れたかな？

お兄さんお姉さんとお楽しみ会

長～い樋を流れるソーメン！

お泊まり会を振り返ってます

【参加者の感想】（できるだけ原文を変えずに掲載）

・きもだめしがめっちゃたのしかった。すいかわりがすごくたのしかったです。はなびがびっくりした。びんごとみんなといっしょにねる。ざぜんがきんちょうしました。バーベキューがおもしろかった。みんなといっしょにあえてよかったです。＜１年＞

・肝試しがさいしょどきどきしてて、いとこがくっついてばっかりだったけどだんだんおばけのことを見ずにおばけになれてよかったです。またこんどお寺にとまる日がきたらやりたいなとおもいます。＜２年＞

・はじめてあって遊んだけど仲よくなってうれしかった。きもだめしも２人でいったからおもしろかった。＜３年＞

・**むずかしかったこと**；坐禅、**たのしかったこと**；バーベキュー、花火、スイカわり　**たのしかったこと**；きもだめし、なかなかゆうきがでなかったけど、どんどんすすんでいくうちにたのしくなった。　**いがいだったこと**；バーベキューのとちゅうに雨がふってたいへんだった。**おたのしみかいについて**；びんごにはならなかったけどたのしかった。**ながしそうめんについて**；めんといっしょにももやパイナップルがながれていておもしろかった。**おとまりについて**；いろいろなこともあったけどまたきたいと思った。＜４年＞

・肝試しで途中（おねえさん）オバケに水ふうせんをなげられて足がびちょびちょになったけどとても楽しかったです。また来たいです！バーベキューもいっぱい食べました！＜５年＞

・バーベキューでとても肉を食べれて楽しかったです。坐禅のときにつかれたけどいろいろなものを感じました。とてもいい経験できてとても楽しくよかったです。＜６年＞

・同級生と一緒にホテルで泊まるのではなく、小学生たちとお寺に泊まったので、とても雰囲気が違っていて、とても貴重な体験になりました。昔に何回か行った覚えがありますが、昨日と今日ずっと小学生と一緒にいて世話をするのが大変だと痛感しました。（笑い）お寺でやったことは全部楽しかったです。いい思い出ができました。ありがとうございました。＜高２＞

・流しそうめんやバーベキューなど夏らしいことができて良かった。とても楽しかった。また、子ども達が小学校も違うのに、とても仲よくできていたことに驚いた。感心した。個人的には、初めての坐禅が思っていたよりきつかった。でも、とても良い経験になった。＜学生＞

・今回は人数が多く全体を見渡しながら行動するのが大変でしたが、どの場面でも子どもたち同士でダメなところはダメと注意し合う姿が見られ、助けられました。子どもたちの各々の要求に適切に対応するのが難しく、接し方の勉強にもなりました。いつも家にこもっているだけなので、夏らしいことができてとても満足しています。ありがとうございました。＜学生＞

＜ＭＩＮＴＯＭＯ日本語教室＞

ＭＩＮなＴＯＭＯだち

「欲しかった自由と時間持て余す」「起きたけど寝るまで特に用もなし」。そこまではいかないとしても、何かしたいと思っている人は多いはずだ。特に阪神淡路大震災の後、脚光を浴びるようになったボランティアも、その何かの候補の一つだろう。

毎月、第一と第三土曜日の９時半になると、湘南台市民センターにＭＩＮＴＯＭＯの仲間が集まって来る。小学生、中学生、大学生、おじさんやおばさんたち。スペイン語を話す人、中国語を話す人、タイ語の人、ベトナムから来た人。そして、その日集まった人たちで、１２時まで、学校で習っていることや日本語、それぞれの国や文化について、教え合って一緒に過ごす。何年も続けている人、今日が初めての人、いつも来る人、たまに見かける人。足を運んだその日からＭＩＮなＴＯＭＯだちなのだが、一体どうやって集まるようになったのか、そして、どうして続いているのだろうか。

始まりは、この地区の変化にあった。２００９年、数を増す外国籍の子供たちのために何かできないかと、湘南台小学校や地区センターを中心に大人たちが動き出した。

ＭＩＮＴＯＭＯ歴６年のＴさんのきっかけは、小６だったお孫さんが学校から持って帰ってダイニングテーブルに置いた、協力のお願いのプリントだった。

ご自身も南米出身のＳさんは、大変だった日本語習得の経験を通して、今大変な思いをしている人たちのお手伝いをしたいという気持ちが始まりだった。

別のＴさんは、職を離れて後、経済的理由で塾に行けない日本人の子供の支援を考えていたとき、元同僚を通してＭＩＮＴＯＭＯと出会った。

「ＴＥＲＲＡとも」を絵に描いたような出会いもある。湘南台小のＩ先生は、地球の裏側のペルーで文教大のＹ先生と知り合った。そしてかけた“来てよ”のたった一言がきっかけとなって、現在多くの大学生が活動してくれている。あの暑かったお泊まり会で、無心に体を動かしていた大学生にある時尋ねたことがあった。ボランティアを始めるに当たり、知識や心の準備や理屈など様々考えて、半分おずおずと足を踏み入れたわが身の経験から、若い大学生たちはどうしてボランティアサークルに入ったのか。「ひとの役にたちたかったから」。サラリといわれてしまった。

市のボランティア講習会で紹介された人、インターネットで知った人、市役所で「日本語教室」のパンフレットをもらってやってきた人。

そうして集まってきた人たちが感じているのは、頑張っている子供たちがいるんだという感動、子どもがかわいい、仲間がいい、ここにいると楽しい、一人では決して出来ない勉強になる、と様々である。しかし口をそろえて出てくるのは、“子供たちから元気・エネルギーをもらっている”。それはきっと、与えて初めて得られるもの、ふれあうことによってでしか得られない大切なものなのだろう。

この集まりが続くもう一つの理由は、‘ゆるさ’にあるようだ。マニュアルや縛りといったものが無く、ルールも少なく、それぞれの個性のままに活動し、その時々の対象に応じて変わってゆく。‘とりあえず’行ってみようか、が出来るのだ。

ＭＩＮＴＯＭＯと出会って２年足らずにして大胆にもその紹介を買って出て、会の設立に携わってきた方々や、レギュラーでいらしている方々と改めて言葉を交わしてみた。何かしてみたいと思っておられる方への軽いひと押しになればというつもりだったのが、終わってみると、自分が一番変わっていることに気が

ついた。　愛着が生まれていたのだ。書いている間、ゆるやかに、やさしいハートビートにのって、ＭＩＮＴＯＭＯのみんなの笑顔が次々に浮かんでくる。

心にひびくものが、ここにはある　（文責：阿部）

日本語教室；生徒の声を紹介します

私は屋嘉比パブロです。１９８９年　ペルーから来ました。その時自分の国の生活がテロなどがあり危険だったので　日本に来ました。最初１人でしたが　１年半後日本で生活していく自信がついたので家族そろった生活になりました。

日本語が少しは分かるつもりでしたが　全く通用しなかったので勉強したかった。なかなか時間がとれず仕事をする中で少しずつ覚えていきました。

東勝寺の日本語教室のことは　娘がノルマさんのスペイン語教室に通っていたので１０年ぐらい前から知っていましたが　土曜日に会社が休めず通えませんでした。土曜が休みになった２年前の９月からここに来るようになりました。日本語は難しいけれど　ここに来て　いつも新しいことを覚えています。日本語や日本文化を教えてくれるＴＥＲＲＡともの皆さんに非常に感謝しています。

まだまだ分からないことがたくさんあるので　これからも　ここに通ってがんばるつもりです。

ことばカルチャ

今年の長月は名月泣かせ！？

今年の９月の日照時間は１２．５時間（横浜）！関東甲信の日照時間は１９６１年以降最小を記録した。９月は別名**長月（ながつき）**というが、その語源は夜長月（よながつき）の略の説、長雨月（ながめつき）の略、穂長月（ほながつき）の略、名残月（なこりのつき）の転じたもの等いろいろな説があるが、夜長月が有力らしい。しかし今年は長雨月がぴったりの９月だ（もっとも長月は旧暦の８月ではあるが）。そのせいか中秋の名月を楽しむことが出来なかった。

さて、今回はもう一つ言葉「**中秋の名月**」の意味を考えてみよう。

月の満ち欠けによって作られた旧暦（太陰暦）では、７，８，９月を秋としていた。その真ん中の８月１５日を中秋と呼んでいた。従って、旧暦８月１５日の月を**中秋の名月**といい、毎月ある満月の中でも澄んだ秋空に輝く丸い月を特別なものとして鑑賞する風習が生まれたのだそうだ。

ちなみに、一ヶ月後にはもう一つの名月が現れる。**後の月見**として十三夜の月を鑑賞する風習。この習わし

これからの主な行事・お知らせ

☆ふじさわ国際交流フェスティバル　日時：　10月30日（日）　場所：藤沢駅サンパール広場

☆MINTOMO 交流会　日時：　12月　3日（土）　場所：湘南台公民館

☆年末国際交流会　日時：　12月29日（木）　場所：東勝寺

皆様のお力をお貸してください

MINTOMO 交流会でのもちつき、年末国際交流会での会場づくりや運営**スタッフを募集**しています。ご協力お願いします。FAX かメールでご連絡ください。

FAX：0466-44-0452　Ｅメール：terratomo@gmail.com